

ステージアップ

Stage Up

主な記事

- ・みんな誰かのヒーロー！
「Inclusive Dance Team
RAYVEL(インクルーシブダンス)
チームレイベル」
- ・朗読を通じて紡ぐ平和の思い
「朗読の会 りんどう」
- ・特集 子どもたちのキラキラ体験を応援！
出会いと創造の夏

詳細・他

◆ 施設めぐり

- ・川崎市アートセンター
芸術文化を通じて
人と地域をつなげる施設
- ・東扇島東公園
一日中楽しめる！
多彩な施設が点在する壮大な公園

◆ 財団からのお知らせ

- ・たのしいキッズセミナー
- ・お楽しみコーナー



「Colors かわさき展」は、作者に障がいがあるか・ないかということにとらわれず、一つ一つの作品の魅力をダイレクトに感じてもらうことを目指す展覧会です。

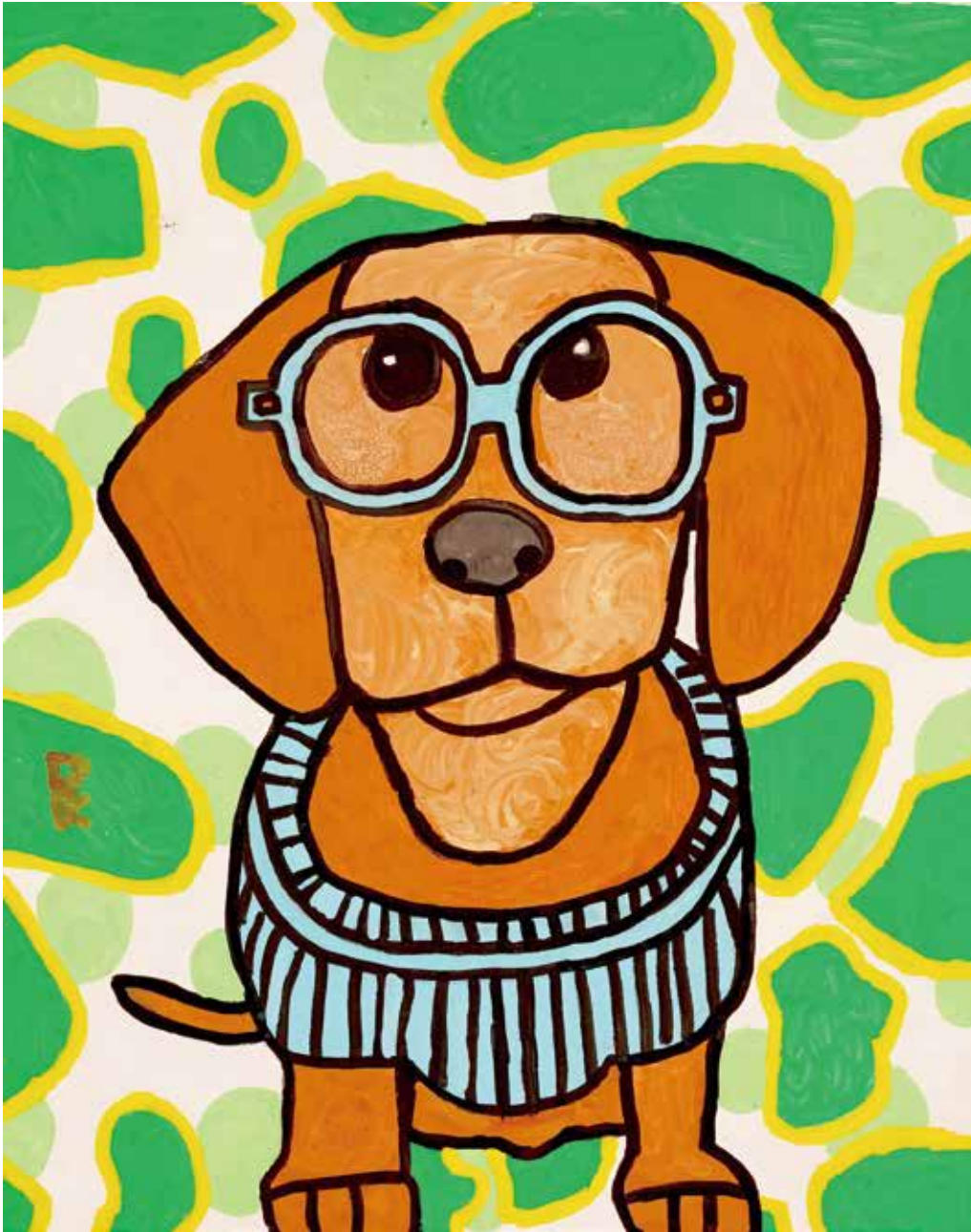
障がいのあるなしに関わらず親しめる芸術文化活動の環境づくりに向けた「パラアート推進事業」の一環として、(公財)川崎市文化財団が年1回開催しています。

Colors かわさき 展より⑬

リョウタ
RYOTA 「インテリDog」

ポスカ

頭の良さそうな犬が描きあがりました。(本人)



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町 28 番 41 号

TEL 044-733-5560(代) FAX 044-739-0085

https://www.kpal.or.jp E-mail: stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

みんな誰かのヒーロー！

インクルーシブダンスチーム レイベル

「Inclusive Dance Team RAYVEL」


 ▲2024年9月
 全国手話ダンス甲子園決勝大会

RAYVELは、国籍や年齢、性別、障害のあるなしなど、あらゆる違いを超えた多様なメンバーで構成されるインクルーシブダンスチームです。「何かを理由に夢や挑戦することを諦めない」「誰もが誰かのヒーロー」をコンセプトに、ダンスを通してこのメッセージを伝えていくことを目的に活動しています。多様なメンバーだからこそ生まれる唯一無二のパフォーマンス。振り付けは全てチームを率いるキャプテンREINAcocoさんによるオリジナル。さらに、メンバーのDj Vodkaさんが手がけたオリジナル楽曲も大きな魅力の一つです。東京都主催「TOKYO共生社会障害理解啓発キャラバン」、神奈川県主催「東京2025デフリンピック1年前イベントinかながわ」、川崎市議会コンセプトムービーなど、多くの出演実績があります。

パフォーマンスチームとして プライドを持ってステージに立つ

RAYVELのキャプテンREINAcocoさんは、平成28(2016)年に障害のある子どもたちのダンス教室の講師として彼らと本格的に関わるようになり、それまで接点のなかった彼らのことを知り、彼らの可能性に驚いたと言います。よりチャレンジングなダンスを求める声もあったことから、ステージに立つことを目的とする「SHOWクラス」をスタートさせ、RAYVELが生まれました。自己満足ではなく、見る人を楽しませるダンスを踊るために、筋力トレーニングをはじめ、ダンスの基礎や振り付けの練習を重ねています。

現在のメンバーは8名。毎週水曜日と月2回の土・日曜日の全体練習、自主練習、イベント等への出演と忙しい日々ですが、チームの一員であることに誇りを持って、全員が対等な立場で活動しています。

RAYVELの名前には、「光(Ray)」という意味と、REINAcocoさんが大好きなマーベル映画『アベンジャーズ』のように、個々の個性を生かしながら力を合わせて輝く場を作りたいという思いが込められています。ダイヤモンドのロゴも同じ思いです。



感謝と喜びと、新たな決意

令和6(2024)年11月24日、RAYVELは初めてのワンマンライブを開催。ライブには約200人もの観客が集まり、メンバー一同「続けてきてよかった」と心から思い、応援してくれた人たちへの感謝の気持ちを直接伝えることができました。また、メンバーが「自分たちの努力は無駄じゃなかった」と実感する機会にもなりました。



▲多くの人がかけたワンマンライブ

手話ダンス甲子園では、前の年に入賞できなかった悔しさを力に変えて、1年前から準備を始めました。昨年9月に開催された全国大会では見事準優勝という結果で、RAYVEL設立以来初めてメンバー全員が「全力を出し切った」と感じられる、最高のパフォーマンスができました。今後も1人でも多くの人に楽しんでもらえる手話ダンスを追求し、たくさんの人に届きたいという思いが強まりました。

手話ダンス甲子園では、前の年に入賞できなかった悔しさを力に変えて、1年前から準備を始めました。昨年9月に開催された全国大会では見事準優勝という結果で、RAYVEL設立以来初めてメンバー全員が「全力を出し切った」と感じられる、最高のパフォーマンスができました。今後も1人でも多くの人に楽しんでもらえる手話ダンスを追求し、たくさんの人に届きたいという思いが強まりました。

夢は全国ツアー！ ダンスで人とつながる未来へ

現在のメンバーは学生や社会人が多く、学業や仕事と両立させながら活動しており、学校や仕事以外で新しい仲間とのつながりを築きながら、さまざまな舞台で表現する機会を得ています。

RAYVELは今、さらに多くの仲間と一緒に、より素晴らしいパフォーマンスを作り上げていきたいと考えています。そこで、RAYVELのビジョンに共感し、活動を共にしてくれる新しいメンバーを募集しています！ダンス未経験でも、基礎から学べるクラスがあるので、安心して始められます。また、直接活動に参加できなくても、チームを応援したり、手伝ったりしてくださる方も大歓迎です。

Cherish class

インクルーシブ ピギナークラス

日時：毎週水曜日

18時～19時

対象：小学生以上

場所：川崎駅周辺スタジオ

RAYVELの夢について聞くと、「いつか全国ツアーをしたいです。動画やSNSでも活動を発信していますが、リアルに勝るものはないと思っています。これからもダンスを通じて人とつながり、たくさんの方が交流できる場を作りたいです」というREINAcocoさん。仲間との絆や努力の過程を大切にしながら挑戦を続けるRAYVELの活躍、これからも注目です！



RAYVEL SNS

■ Inclusive Dance Team RAYVEL

代表 大槻玲奈(REINAcoco)

電話 080-3726-1125

メールアドレス reina1125coco@gmail.com

朗読を通して紡ぐ平和の思い 「朗読の会 りんどう」



▲平出 圭さんと恭司さん

「朗読の会 りんどう」の朗読会は、平和をテーマにした作品や、人間愛や思いやりを育む作品を取り上げ、演劇的な工夫をして観客に深い印象を与えています。

舞台俳優として活動していた代表の平出圭さんは、教職を退職後の父・恭司さんと「父娘で何か一緒に」と話していました。ちょうどその頃、大学時代の恩師に誘われて朗読劇に参加し、演劇の新しい表現方法を教わりました。初の公演は、平出さんが働く障害者地域作業所(現NPO法人)の後押しで実現した『かさじぞう』。恭司さんや演劇仲間と協力し、舞踊を交えた朗読劇を披露しました。この経験を基盤にして、平成20(2008)年に「朗読の会 りんどう」が誕生しました。

名の由来は、平出さんの祖父の俳号が「竜胆(りんどう)」であり、家族皆の出身が静岡県の天竜であることから、「竜」の肝っ玉を持ってやっついでいこうと。本選びの基準として、平和への思いを綴った作品や、心温まる人間愛の話を朗読することにしました。初期メンバーは4名でしたが、現在は10名が所属し、公演前には麻生区の稽古場で技術の向上に励んでいます。

思わず引き込まれる朗読劇

「朗読とは人に聞かせるために音声化すること」ですが、平出さんや恭司さんは、ただ文字を音にして読むのではなく、自分の言葉にする、「語る」「吾が言う」ことを目指しました。物語に描かれた人物や事象を生き生きと舞台上に展開する表現を。ですから、本を持ちながらでも、視線を客席に送ったり、表情や手を動かしたり、演目によっては音楽を流したり、動き(ムーブメント)を入れたりして演じます。そうすることで、見ている方に、より強くイメージしてもらえないのではないかと。ご覧になった方は、「台本を持った芝居」を見たような印象を持たれるかもしれません。



▲「茶色の朝」

平和について考える機会

りんどうが主催する朗読会は、「平和について思うひと時」というタイトルで、3~4作品の朗読劇を披露します。設立以来ずっと、東京や川崎に空襲のあった春と、原爆投下や終戦の夏、年に3回ほど実施し、戦争とは、勝っても負けても傷を負う、愚かな行為だということ訴え続けています。また、「演劇・縁劇・KANGEKI fes」と題したイベントを、他の団体とも連携して開催しています。子どもたちの集会や高齢者施設への慰問など、出前朗読も引き受けているそうです。

「時にセリフと自分の感情がリンクして、胸が熱くなります」と言うのは、入会前からりんどうの舞台に出演していた末安信彦さん。演劇や朗読には、他者の人生を疑似体験し、共感を生む作用があるようです。それは見る側にとっても同様に、想像力を働かせて、戦争や平和について考える良い機会となることでしょう。



▲『ある共生の経験から』

舞台を通して伝える思い

平出さんは、「私たちは、反戦を声高に叫ぶのではなく、作品を通して戦争の愚かさや平和の尊さ、命の大切さを訴えていきたい。私たちの考えや思いは、舞台の上で表現していきます」と語ります。

りんどうの舞台は、観客にとってのオアシスでありたい。見た人が勇気もらい、次の行動への一歩を踏み出すきっかけになれるようにと、平出さんたちは心を込めて舞台を作り上げています。

「朗読の会 りんどう」の朗読会は、平和を願う祈りと、人々をつなぐ優しさにあふれています。一緒に心揺さぶられる体験をしてみませんか。



衣装のお話

りんどうの舞台は、見る人が自由にイメージを重ねやすいように、左のように黒いシンプルな衣装が多いそうです。演目によっては、右のように楽しい衣装も♪



お知らせ

「第34回あさおサークル祭」に参加
音無二 Birth 文豪が描いた少年たち
日時：6月7日 土曜日 16時45分開演
場所：麻生市民館(無料)

「平和をきずく市民のつどい」
日にち：6月1日 日曜日
場所：川崎市平和館

午前のプログラムの中で、朗読を披露します

朗読の会 りんどう

代表 平出 圭(ひらで けい)

電話 090-9145-8659(9時~21時)

メールアドレス keimayuzumi.1512@gmail.com



特集 子供たちのキラキラ体験を応援！ 出会いと創造の夏

新年度が始まり、新しい生活にも少しずつ慣れてきた頃でしょうか。
これからやってくるのは、開放的な気持ちになり、新しいことに挑戦したくなる夏！
当財団では、青少年学校外活動事業として、子どもたちが実際に「見て、触れて、聞いて、匂いを感じて、味わう」体験を通じて成長できる機会を提供しています。
この夏、サマーキャンプや陶芸教室で、お子さまに新たな発見や感動を届けてみませんか？
子どもたちの未来がより輝くものとなるよう、皆さまのご参加をお待ちしています！

【小学5年生～中学2年生対象】

土の感触を確かめて

マグカップづくりに挑戦！ 子ども陶芸教室

詳しくはコチラ



日時 令和7年7月6日(日曜日)・8月3日(日曜日) 午前9時30分～12時

会場 川崎市生涯学習プラザ 地下1階実習室

1キログラム(小さめのご飯茶碗2個分程度)の粘土を使い、当プラザ陶芸教室の受講生ボランティアによる指導の下、自分だけのオリジナルマグカップづくりに挑戦します。マグカップづくりで余った粘土を使い箸置きや小皿などの小物を作ることできます。

教室は粘土をこねて形を作る「形成作業」と、素焼きが済んだ作品に絵を付けて釉(うわぐすり)をかける「施釉(せゆう)作業」の2日間の工程で行われます。特に2日目の施釉作業は当プラザ陶芸教室ならではの工程で、通常の陶芸教室ではなかなか体験できない貴重なものです。

毎年、参加者の皆さんは、さまざま工夫を凝らして作品づくりを楽しんでいます。

形成作業



下絵付け



施釉作業



完成作品



【市内在住・在学 小学5年生～中学2年生対象】

楽しく・仲良く・元気よく

人と自然と文化に出会える ふれあいサマーキャンプ

ふれあいサマーキャンプとは？

夏休みの期間に、川崎市の子どもたちが、川崎市の代表として友好市町村を訪れ、市町村の自然や文化、地域の人々とのふれあいを体験することができる、地域間交流を目的とした宿泊行事です。友好市町村の自治体や地域団体が全面的に協力して実施しているので、貴重で豊かな体験ができます。参加者は川崎市の各地から集まってくるので自分の学校以外の友達づくりの機会にもなります。参加費用は、交通費や宿泊費、体験料などの実費のみとなります。

キャンプは川崎市教育委員会、一般財団法人川崎教職員会館、公益財団法人川崎市生涯学習財団の共催です。主催者の職員や川崎市立学校の教職員などが引率しますので、安心して参加することができます。

サマーキャンプはいつから始まったの？

平成2(1990)年の岩手県東和町(現花巻市)へのサマーキャンプが始まりで、35年の歴史があります。これまで約5,800人が参加しました。

令和7年度は4コースで実施！！

長野県 富士見町コース (2泊3日) 8月4日(月)～8月6日(水)	岩手県 花巻市コース (2泊3日) 7月30日(水)～8月1日(金)
島根県 益田市コース (2泊3日) 7月28日(月)～7月30日(水)	和歌山県 古座川町コース(3泊4日) 7月28日(月)～7月31日(木)

どんな活動があるの？

豊かな自然を実感できる体験やその土地に根付いた文化体験、地元の方や小中学生と仲良くなれるふれあい交流などがあります。



花巻市コース

古い布を織り込む「さき織」、手すき和紙、カヌー・ボート、農作業体験など
◀さき織



富士見町コース

川俣渓谷・鼻戸屋ハイキング、ナイトハイク、星座観察、野菜収穫など
◀鼻戸屋ハイキング



古座川町コース

川・海遊び、ウナギ漁、カヌー、一枚岩・那智の滝等見学、熊野古道など
◀清流での川遊び



益田市コース

川・海遊び、石見神楽、野外炊飯、ぶどう園見学、竹細工、乗馬など
◀海でのマリナクティビティ

【申込期間】 令和7年5月12日(月曜日)～28日(水曜日)

川崎市生涯学習財団のホームページで申し込みます。定員を超えた場合は抽選で参加者が決まります。



麻生区

川崎市アートセンター

小田急線「新百合ヶ丘駅」下車 北口より徒歩約3分



芸術文化を通じて 人と地域をつなげる施設

ガラス張りのエントランスが特徴的な川崎市アートセンターは、芸術文化振興の拠点として平成19(2007)年10月31日にオープンしました。アートセンターがある新百合ヶ丘駅周辺地域は、多くの芸術文化関係者が居住し、昭和音楽大学、日本映画大学などの芸術文化拠点もあり、市民による芸術文化活動が活発に行われています。アートセンターは、豊かな地域資源を持つ「しんゆり・芸術のまち」でこれまで行われてきた芸術のまちづくりを継承し、さらに発展させることを基本理念としています。

アートセンター内の映像館では、1日4本から5本の映画が上映されています。35ミリフィルムの上映にも対応しており、クラシックな映画の上映も可能です。

小劇場では、アートセンターの定番企画として、「しんゆりジャズスクエア」と「しんゆり寄席」を年に5回ずつ開催しています。

3階にあるコラボレーションスペースは、映画監督や出演者のトークイベント、子どもたちのワークショップに活用されているほか、最近では、文化芸術に関わる地域の方にも活用されることが増えてきました。現在、地域のNPO法人が毎週月曜日に「コンシェルジュ」を開設し、芸術文化に関する相談を受け付けています。

アートセンターでは、若い世代に親しまれる施設を目指して、さまざまな取り組みを進めています。小中学生や障害を持つ子どもたちに向けたアウトリーチ等を展開し、演劇を通じたコミュニケーションの促進や鑑賞の機会を提供しています。また、館内に子どもたちが描いた絵を飾ることで、温かみのある雰囲気づくりに取り組んでいます。

地域の活性化にも着目し、市民の声を反映して休憩スペースや更なる有効活用を検討するなど、地域に根ざした魅力的な施設づくりを進めています。館長の関敏秀さんは、「芸術文化を通じて人と地域をつなげる施設、また、しんゆりの芸術文化機関をネットワーク型につないでいく核となるような施設にしていきたいです」と笑顔で話してくださいました。

誰もが楽しめる多彩な取り組み…映像館

アートセンターの映像館は、世界各地の名作や新進監督の作品を上映する地域密着型のミニシアターです。視覚障害者向けには、FMラジオを使った音声ガイド付きバリアフリー上映を実施。台本制作から録音までをボランティア主導で手掛ける取り組みが特徴です。また、子育て世代には保育付き上映を提供し、安心して映画を楽しめるよう、サポートしています。

さらに、中高生向け鑑賞ワークショップや、映画・アニメーションの仕組みを学ぶ小学生向けのワークショップも開催し、多くの参加者を集めています。



地域、年齢を超えた演劇体験…小劇場

アートセンターの小劇場では、多様な演劇制作が行われています。プロの役者による本格的な公演に加え、市民劇団「劇団わが町」が、小学生から高齢者まで参加して、地域に根ざした作品を毎年上演。令和6年度は『かわさきのむかし話』等を題材にした劇が披露されました。海外劇団による「海外児童劇」では、言葉の壁を超えたパフォーマンスが子どもたちに感動を届けています。

乳幼児のための舞台芸術「ベイビーシアター」では、赤ちゃんが演劇に触れて反応する参加型演劇体験を提供。年齢に応じた演劇を通じて、幼い子どもたちにも芸術の楽しさを伝える、日本でもまだ珍しい取り組みです。



パルム・ドールを2つ展示するのは 世界でここだけ!?

2階の展示コーナーには、日本映画大学の創始者、今村昌平監督のカンヌ国際映画祭パルム・ドール（最高賞）受賞トロフィーが常設展示されています。



左：第36回カンヌ国際映画祭パルム・ドール受賞トロフィー
(受賞作品『榎山節孝』 寄託：東映株式会社)

右：第50回カンヌ国際映画祭パルム・ドール受賞トロフィー
(受賞作品『うなぎ』 寄託：今村プロダクション)

川崎市アートセンター
kawasaki ART center

〒215-0004 麻生区万福寺 6-7-1

電話 044-955-0107

FAX 044-959-2200

受付時間 午前9時から午後7時30分

休館日 年末年始 第2月曜日(祝日の場合その翌日)



公式サイト

川崎区

東扇島東公園

JR「川崎駅」東口 12 番のりばから市バス
【川 05】東扇島循環で「東扇島東公園前」下車

一日中楽しめる！

多彩な施設が点在する壮大な公園

東扇島東公園は、東京湾に造成された人工島「東扇島」に位置する広大な公園で、平成20(2008)年4月26日に開園しました。東京ドームの3倍以上の面積を持つ敷地には多様な施設が整備されていて、空と海と緑を満喫できるスポットとして親しまれています。航空機が離発着する姿や、京浜運河に臨む「工場夜景」が楽しめることでも知られています。



▲光あふれる潮風デッキ



▲屋根付き休憩所

公園内には、東京湾や京浜工業地帯を一望できる潮風デッキ、自然観察や散歩が楽しめる潮入りの池、サッカーやイベントが行える多目的広場、愛犬と遊べるドッグラン(わんわん広場)、人工海浜(かわさきの浜)、そしてバーベキュー広場など、レクリエーション施設が充実しています。多目的広場、わんわん広場を利用するためには、あらかじめ登録が必要です。

興味を持たれた方は、市のホームページで詳細を確認して、手続きを行ってください。

アクセスの良さも、この公園の大きな魅力です。川崎駅東口から市バス「東扇島循環」が運行しており、「東扇島東公園前」で下車すれば、公園入口まで徒歩数分と非常に便利。車を持たない方でも気軽に訪れることができます。首都高速湾岸線「東扇島出口」からすぐの立地で、車でのアクセスも簡単。公園には広い駐車場が完備されていますので、家族連れや荷物が多い場合に便利ですね。

東扇島東公園を訪れて、さわやかな潮風を受けながら、家族や友人たちとの豊かな時間を過ごしてみませんか？

施設に関する問い合わせ

東扇島東公園管理事務所 044-288-5523

人工海浜(かわさきの浜)

東扇島東公園の人工海浜「かわさきの浜」では、整備された環境で安心して潮干狩りが楽しめます。川崎市で潮干狩りができる数少ないスポットの一つ。家族連れや自然体験を求める人たちに人気です。

遊泳や釣りは禁止されていること、採取可能な貝のサイズや採取具に規制があることなど、気をつけたい点を市のホームページで確認し、ルールを守って楽しみましょう。

堤防に囲まれた砂浜は、波が小さく、小さな子どもたちも安心して遊ぶことができます。磯場もあります♪



バーベキュー広場でアウトドア料理！

バーベキュー広場は、海を眺めながらアウトドア料理を楽しめる開放感のあるスポット。事前予約制で、混雑を避けて快適に利用できます。炭火のみ使用可能で、ガスコンロや直火は禁止されています。また、環境保護のため、ゴミは必ず持ち帰るルールがあります。

海風を感じながらのバーベキュー、特別な時間が過ごせそうですね。



バーベキューの申し込みは「ふれあいネット」から

災害時には国の広域防災拠点として機能

平常時には「東扇島東公園」として川崎市が管理しているこの公園は、大規模災害時に備えて、国によって整備された、東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点でもあります。災害時には、安全確保のための避難場所として使われ、港湾施設が近い立地を生かし、救援物資の輸送・配布拠点としても機能します。救助隊やボランティアの活動拠点、医療支援の場としても想定されていて、定期的に防災訓練なども行って災害に備えています。都市近郊で自然を楽しめるだけでなく、防災拠点としての重要な役割も備えているのです。

■川崎市港湾局川崎港管理センター港営課

〒210-0869

川崎市川崎区東扇島 38-1

電話 044-287-6034

メールアドレス 58kouei@city.kawasaki.jp



R7 夏休み特別講座

—小学3年生～6年生向け 各教科や学習とつながる体験的活動—

たのしいキッズセミナー



日時 令和7年7月22日(火)～25日(金)

午前10時～12時、午後1時～3時

会場 川崎市生涯学習プラザ [中原区今井南町 法政二高近く]

講師 「認定NPO法人教育活動総合サポートセンター」に登録された経験豊富な先生方他

対象 小学3年生～6年生

「たのしいキッズ
セミナー」って
なんですか？

1. これまでに学校の学習や活動で培った力をベースにして、個々の興味や関心を広げたり深めたりする機会
2. 国語・算数・理科・造形・音楽・英会話遊び・パソコンの学習や活動を中心に、身体を動かしたりものにふれたりしながら、心を、思考力を、そして、指先をはたらかせる活動
3. とても楽しく、取り組んだ学習や活動がますます好きになる講座

...です！

実施予定講座 18講座

- ★楽しい国語(全3回)
- ★算数レベルアップ(全2回)
- ★チャレンジ算数(全2回)
- ★たのしい理科①・②(各2回)
- ★おもしろ科学①・②・③(各2回)
④・⑤(各1回)
- ★わくわく造形教室A・B・C(各2回)
- ★楽しい英会話遊びA・B(各2回)
- ★楽しい音楽(全3回)
- ★キッズパソコン①・②(各4回)

※1 諸事情により講座数や回数は増減する場合があります。

※2 各教科のA・B・Cは同じ内容の講座となります。

申込期間 令和7年5月30日(金)～6月16日(月)
 申込方法 申込書を記入した後、郵送、FAX
 または生涯学習プラザ窓口へ持参
 受講料他 各講座とも1回1,430円(消費税込み)×開催回数
 お一人につき保険料・通信費等400円
 希望講座(理科・科学・造形)により200円～1,000円の教材費
 申し込み・(公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室
 問合せ先 「キッズセミナー」担当
 〒211-0064 中原区今井南町28-41
 電話 044-733-6626
 FAX 044-733-6697
 メールアドレス suisin7@kpal.or.jp
 ホームページ https://www.kpal.or.jp

◆お楽しみコーナー

Stage Up 253号クイズに答えよう!

川崎市アートセンターには、今村昌平監督の
カンヌ国際映画祭パルム・ドール受賞トロ
フィーがいくつ展示されているでしょうか。

※ヒントp.6

【応募方法】



左記の二次元コードから解答フォームへアクセス、または、①答え ②住所 ③氏名
④Stage Upの入手場所 ⑤今号の誌面でよ
かった記事(理由)を書いて、はがき、
FAX、Eメールで担当宛、応募してください。

※締切 令和7年5月12日(月)必着

※正解 ホームページ及び次号に掲載

※正解者3名に500円の図書カードを贈呈

(発表は発送に代えさせていただきます)

〒211-0064 中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習財団 Stage Up(ステージアップ)担当

Eメール: stage-up@kpal.or.jp

TEL 044-733-5811 FAX 044-739-0085

※個人情報、発送業務以外の目的では使用しません。

☆252号のクイズの答え・・・富士見公園

